

平成24年度 基礎・基本定着状況調査の結果概要

広島市立戸坂城山小学校

1 調査の趣旨

- (1) 学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な知識・技能の定着状況とともに、思考力、表現力などの状況を把握する。
- (2) 児童生徒の生活や学習に関する意識や実態及び各学校における教科指導等の実態を把握する。
- (3) 各学校が全県的な結果と比較・分析することを通して、自校の課題を明確にするとともに、指導内容や指導方法の改善・充実を図る。
- (4) 調査結果をもとに児童生徒の学習の到達度を明らかにし、県の教育行政施策に生かす。

2 調査期日

平成24年6月12日（火）

3 調査内容

小学校（小学部）第5学年

- ①国語、算数における前学年までの学習内容の定着状況調査
- ②生活と学習に関する意識・実態についての児童質問紙調査
- ③指導方法等についての学校質問紙調査

中学校（中学部）第2学年

- ①国語、数学、英語における前学年までの学習内容の定着状況調査
- ②生活と学習に関する意識・実態についての生徒質問紙調査
- ③指導方法等についての学校質問紙調査

国 語

【領域ごとの定着状況】

領域	平均通過率(%)		
	広島県	広島市	学校
国語・教科平均	75.8	74.1	71.9
聞くこと	77.7	75.1	74.1
書くこと	56.4	55.9	63.3
読むこと	80.7	79.9	76.5
言語事項	78.3	75.9	74.7

定着状況

- 日時等の情報はよく聞き、メモをとりながら聞くことはできている。
- 本文を読み取る力はある。特に、文中に入れる接続詞や適切な語の選択はほとんどできている。
- 2・3年の漢字の読み書きは概ねできている。また、ローマ字を読むこともよくできている。

課題

- 聞くこと…話し手の情報を正確に読み取り、情報の過不足について吟味することに課題が残る。
- 書くこと…段落を意識した文章を書くことが難しい。
- 読むこと…段落相互の関係を把握して文章を入れたり、場面の移り変わりや情景を想像して主人公の思いを読み取ったりすることができていない。
- 言語事項…4年生の漢字の読み書きができていない。辞書の引き方も定着していない。

算 数

【領域ごとの定着状況】

領域	平均通過率(%)		
	広島県	広島市	学校
算数・教科平均	75.0	72.9	72.2
数と計算	84.6	83.5	83.0
量と測定	73.7	71.0	71.4
図形	58.7	55.0	56.6
数量関係	72.7	70.7	67.0

定着状況

- 数と計算…整数の加・減・乗・除法の計算力は定着してきている。また、同分母の分数の計算も定着している。
- 量と測定…方眼紙上にある四角形の面積比較については概ね定着している。
- 数量関係…二次元表やグラフの読み取りについては概ねできている。

課題

- 数と計算…位をそろえて小数の計算をすることや、分数の意味と表し方についての理解が不十分である。
- 量と測定…時間の単位換算や60進法での計算、分度器を用いた180°以上の角の測定に課題が残る。
- 図形…三角形やひし形などの四角形の定義について、理解が不十分である。
- 数量関係…文章題から数量の関係を見付けて立式したり、工夫して計算したりすることに課題が残る。